

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 5 月 9 日

事務事業名		久原飯渕婦人防火クラブ助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040102000680
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	030401
政策体系	総合計画の施策名	0401 防災・消防対策の充実				主要事業	対象外		生活安全課
	政策名	04 快適で潤いのある生活環境づくり				市長マニフェスト	対象外		
	施策名	01 防災・消防対策の充実				未来PJ事業	対象外	グループ	生活安全
	基本事業名	02 防災消防体制の強化				合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	09	01	02	01	00	非常備消防事業		
法令根拠							期間限定複数年 (平成18年度～平成30年度)		
						→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
久原飯渕婦人防火クラブに対し、補助金を交付し活動の支援を行っている。久原飯渕婦人防火クラブは総会の開催、会議への出席、研修会への参加、備品の操作確認等の事業を実施している。補助金については、補助金審査委員会により平成30年度での打ち切りが決定している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付申請書の受付</li> <li>書類内容審査</li> <li>補助金交付決定通知書の送付</li> <li>補助事業実績報告書の受付</li> <li>総会への出席</li> <li>活動への協力</li> <li>事務局である桜川消防署との連絡調整</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付申請書の受付</li> <li>書類内容審査</li> <li>補助金交付決定通知書の送付</li> <li>補助事業実績報告書の受付</li> <li>総会への出席</li> <li>活動への協力</li> <li>事務局である桜川消防署との連絡調整</li> </ul>	補助金額	円	30,000.00	30,000.00	30,000.00	30,000.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
久原飯渕婦人防火クラブ	クラブ員数	人	24.00	25.00	24.00	24.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
クラブ員の育成、備品の充実及び活動の活性化を行う。	住みやすい住環境であると答えた人の割合	%	52.40	48.20	49.00	49.00	49.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	30	30	30	30	30
	事業費計 (A)	千円	30	30	30	30	30	
人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	0.00人	
	述べ業務時間	時間	26.00	13.30	13.30	13.30	13.30	
	人件費計 (B)	千円	75	39	39	39	39	
トータルコスト (A)+(B)		千円	105	69	69	69	69	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
	19 負担金補助及び交付金	30				
		合計	30			合計 30

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する <ul style="list-style-type: none"> <li>主要事業</li> <li>市長マニフェスト</li> <li>未来PJ事業</li> <li>合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	久原飯淵婦人防火クラブ助成事業	事務事業No.	40102000680	所属課	生活安全課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
旧岩瀬町から継続して支援している。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
他の地域にも結成が望まれている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	平成30年度で補助金が打ち切りになることで、違った形の支援が必要になってくる。どういった支援ができるのか検討が必要である。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	久原飯淵婦人防火クラブを支援することにより防災消防体制の強化に繋がるため、市の政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	活動費が補われることで防災消防体制の強化に繋がるため、市が行うことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	補助金を増額することはできず、補助金で今以上の支援を行うことは限界があるため、これ以上の成果の向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	久原飯淵婦人防火クラブの活動力が低下し防災消防体制の弱体化に繋がる。市民生活の安全安心のためには継続しなければならない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	補助金交付の類似事業はないため、統廃合や連携はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費は補助金額で長年継続して支援してきたが、補助金審査委員会の指摘により平成30年度で打ち切る。しかしながら、活動費の減少により活動力が低下し防災消防体制の弱体化に繋がるおそれがある。また、必要最小限の事務時間である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	クラブ員の育成、備品の充実及び活動の活性化により防災消防体制の強化に繋がり、またほかの地域にも結成されることにより、すべての市民が受益者となるため特定の受益者はいない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	補助金額は徐々に減額されてきており平成30年度には打ち切りとなる。補助金がなくなれば活動費が減少し団体の活動力の低下が懸念される。市としては、活動に対し違った面から支援していくことが必要になる。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持	○																								
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	⑦																							
		コスト削減優先度評価結果	⑥																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続 (現状維持)      C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続 (改革改善を行う)      D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>